

2022年3月25日

報道関係各位

三菱地所株式会社

～“ポスト・コロナ時代のまちづくり”をふまえ、丸の内 NEXT ステージをさらに加速～  
『クリエイティビティ向上』×『出会い・交流』×『多様な 100 万人』で新たな「価値」を創造  
まちづくりに求められる役割と5つのまちづくり戦略

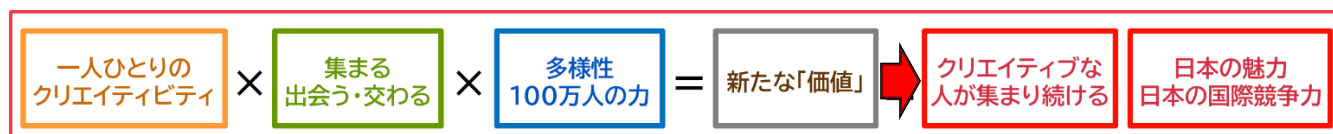
三菱地所は、2020年代における丸の内エリア(大手町・丸の内・有楽町地区)のまちづくりを「丸の内 NEXT ステージ」と位置づけ、“丸の内 Re デザイン=人・企業が集まり交わることで新たな「価値」を生み出す舞台づくり”を推進しています。コロナが加速させた本質的な社会変容を踏まえ、2020年7月には、ポスト・コロナ時代の新しいまちづくりやワークスタイル像を描いた「ポスト・コロナ時代のまちづくり」を公表しましたが、ポスト・コロナを本格的に迎えようとする今、丸の内のまちづくりに求められる役割と具体化戦略(5つのまちづくり戦略)について、このほど改めて再定義いたしました。

今後、丸の内 NEXT ステージを加速させる5つのまちづくり戦略を軸として様々な施策を推進し、これまで以上に多様な刺激を得られ、人・企業が交流し、新たな価値創造を実現するまちづくりを進めてまいります。

## 1. 新たな価値創出のためにまちが果たすべき役割

個人の自己実現や企業の事業変革を実行するには、一人ひとりがクリエイティビティを発揮し、一個人や一企業にとどまらない多様な協創が欠かせません。他方、コロナ禍で加速したワークスタイル、ライフスタイルの多様化は、交流機会の減少や、従業員のエンゲージメント、ロイヤリティ低下を招く恐れがあります。

三菱地所は、「就業者 28 万人×8 時間から、多様な就業者 100 万人×最適な時間、交流するまち」を掲げ、フレキシブルなワークスタイルへの変化をむしろチャンスと捉えています。高いレジリエンス性・BCP を備えた安心・安全に活動できるエリアに、28 万人、4300 事業所が面的に集積する丸の内を、さらに多様化した 100 万人の集積に進化させ、「一人ひとりに即した 1 億通りの刺激・学びがある」、「最適な仲間・コミュニティに参加できる」、「協創・アウトプットが最大化する」まちを実現させます。



## 2. 5つのまちづくり戦略

### ① 多様な場の提供

・「丸の内にオフィス・ワークスペースを設けたい」というニーズに対応し、新たなフレキシブル・ワークスペースの企画・開発を進めるとともに、曜日貸し、時間貸し、会員制等のフレキシブルな契約形態と場を用意します。  
・飲食店舗の空き時間のオフィス利用、公共空間のワークプレイス利用等、一つの用途に限定せず、場の使い方を柔軟に捉えます。

### ② 多様なテーマ・コミュニティ

・企業・個人が取組む課題は多様化し、社会課題の解決には異業種との協創が日常化しています。集積と多様化を進めると同時に、テーマを数多く設けて、同じ課題に取組む提携先・仲間を見つけやすく、かつ異業種との協創につながるコミュニティ同士の交流を働きかけます。

### ③ 面でのつながり・発信

・120ヘクタールの面的な展開を活かし、丸の内にある複数の協創施設やコミュニティの共同利用を進めます。さらに、エリア内の移動を支えるパーソナル・モビリティを整備し、丸の内ならではの「まちのシェアリング」で100万人就業者を支えます。

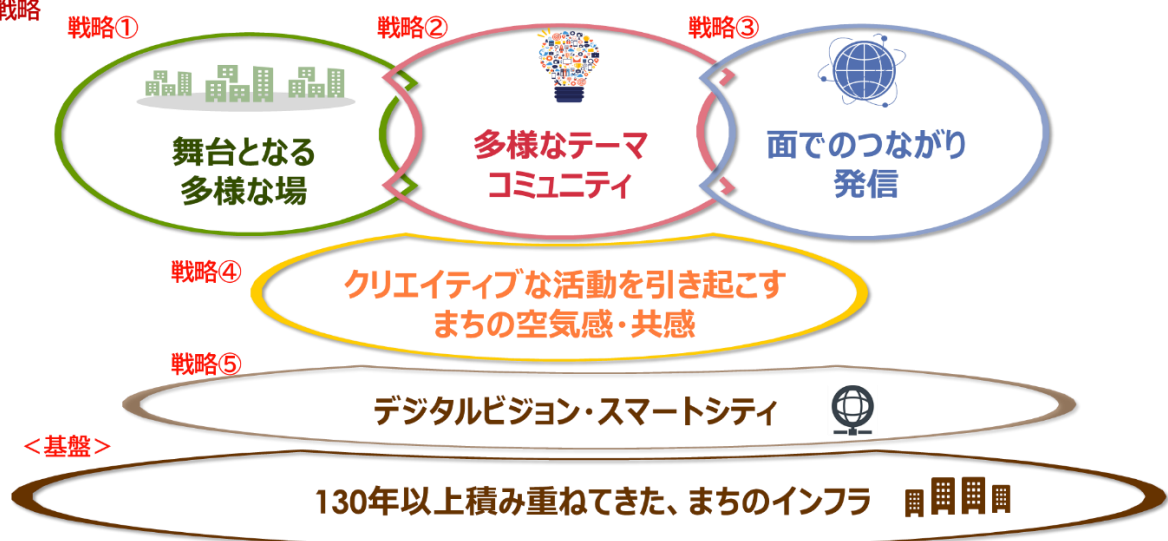
### ④ クリエイティブな活動を引き起こす

・クリエイティブな活動を行う企業やヒトは、その活動場所にも、創造力を生みやすい環境や社会課題への取り組み等、まちづくりに共感が持てることを求めます。  
・脱炭素社会への対応、アート×ビジネス、地域×都心といったテーマに、まち全体で取り組みます。  
・みどり豊かなウォークアブルな空間と居心地の良いショップ&レストラン等、五感に訴える屋内外の空間を作ります。

### ⑤ デジタルビジョン・スマートシティの実現

・まち単位でDX化に取り組みます。まず、①人流データ・デジタルツイン等の都市のデジタル基盤、②オープンなサービスが参加できるプラットフォーム、③利用者との一元化接点となる基盤(Machi Pass)に着手、概ね整備が完了しています。  
・この基盤を活かし、エネルギーマネジメントやロボット活用等「まちの運営」のDX、一人ひとりのニーズに即したサービスと体験価値の提供、ネットワークに参加する各種サービスとの協創によるまちづくり、を進めます。

まちづくり戦略



以上

○丸の内エリアのまちづくりコンセプト：「丸の内 Re デザイン」



丸の内  
Re デザイン

三菱地所は、2020年以降の丸の内エリア（大手町・丸の内・有楽町）におけるまちづくりを「丸の内 NEXT ステージ<sup>※</sup>」と位置付け、“人・企業が集まり交わることで新たな「価値」を生み出す舞台”を創造していきます。「丸の内 Re デザイン」はその実現に向け、まちづくりのあり方から変えていくコンセプトワードです。

※始動リリース：[https://www.mec.co.jp/j/news/archives/mec200124\\_marunouchinext.pdf](https://www.mec.co.jp/j/news/archives/mec200124_marunouchinext.pdf)